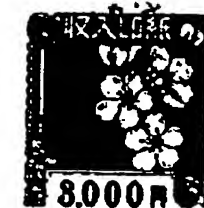


公開実用 昭和54—61702



(3,000円)

実用新案登録願

昭和52年10月8日

特許庁長官 熊谷善二 殿

1. 考案の名称 スライドファスナーの^{ヒイ}止部

2. 考案者

住所(居所)

富山県黒部市荒俣^{カベツツマ}192の1

氏名

明^{アカ}石^{イシ}俊^{シゲ}次^{ツグ}

3. 実用新案登録出願人

住所(居所)

東京都千代田区神田和泉町1番地

氏名(名称)

(682) 吉田工業株式会社

(国籍)

代表者 吉田 忠雄

4. 代理人 〒930 TEL (0764) 23-5433

住所

富山県富山市千石町2丁目8

氏名

(3694) 弁理士 宮田 友



5. 添付書類の目録

- | | |
|----------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) 委任状 | 1 通 |



54-61702

52 135731

方式
審査

明 細 書

1. 考案の名称

スライドフアスナーの止部

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) エレメント列(1)の末端部に有する複数個のエレメント(1)の頭部(2)に亘つて断面略円形の合成樹脂片(3)を溶融固着し、且つ合成樹脂片(3)の端部に屈曲部(4)を設けると共に、該屈曲部(4)をエレメント列(1)末端のエレメント頭部(2a)の側面に溶融固着してあることを特徴とするスライドフアスナーの止部。
- (2) 屈曲部(4)をエレメント頭部(2a)の側面に有する嚙入した噛合面(5)に溶融固着してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のスライドフアスナーの止部。
- (3) 屈曲部(4)をエレメント頭部(2a)よりエレメント脚部(4)に肉つて傾けた状態で溶融固着したこと

(1)

54 6702

を特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項記載のスライドファスナーの止部。

3 考案の詳細な説明

この考案は、合成樹脂製のモノフィラメントを複数個のエLEMENT頭部に亘つて溶融固着して上止め及び下止めと成すスライドファスナーの止部に関するもので、その目的は、強度が向上され且つ手指や衣服などに傷付けることのない止部を提供することにある。

周知のように、上止め及び下止めの止部として、ELEMENT列末端部の複数個のエLEMENT頭部に亘つて合成樹脂製モノフィラメントを溶融固着したものがあり、生産性、経済性並びに強度が高くなる等の利点があることから、多く採用されている。しかし、従来のこの種の止部は、溶融固着された細い棒状の合成樹脂片より成り、長いモノフィラメントより切断したまゝ

のものであるから、末端に角ばつた引掛りやすい部分が残ることが多く、手指や衣服に傷を付けたり或は痛みを覚えて不快感を与える欠点があるうえ、その引つ掛かりにより長期使用のうち合成樹脂片とエレメントとの溶融部に亀裂が生じ、合成樹脂片の固着性能を弱めて止部としての機能を損う欠点があつた。

そこで、この考案はかかる欠点を解消するために開発されたもので、以下、実施例を図面によつて説明する。

第1図に示す上止部(1)は第2図乃至第4図に示され、下止部(1)は第7図乃至第9図に示してある。上止部(1)は、左右のエレメント列(5)(6)の上端部に有する複数個のエレメント(1)の頭部(2)に亘つて、モノフィラメントより所定長さに切断した合成樹脂片(3)を超音波加工手段により溶融固着し、該合成樹脂片(3)の端部には屈曲部(4)

が形成してあつて、その屈曲部(4)を末端のエレメント頭部(2a)の側面に同じく溶融固着したものである。そこでエレメント頭部(2a)の側面に溶着する場合、エレメント頭部(2a)の側面に嚙入した嚙合面(5)を有するから、屈曲部(4)を嚙合面(5)に深く喰い込む状態に設けるか、或は第5図図示の如く、屈曲部(4)を合成樹脂片(3)に対して直角に曲げると同時にエレメント(1)の脚部(6)側に傾倒し、頭部(2a)より脚部(6)に亘つて溶融固着することがある。

次に下止部(11)は、エレメント列(10)(10)の末端部に有する嚙合している複数個のエレメント(1)の頭部(2)に亘つて設けてあり、その構造は上止部(1)と同様に、屈曲部(4)を設けた合成樹脂片(3)で構成され、屈曲部(4)も同様末端のエレメント頭部(2a)の側面に溶融固着してある。

尚、図中(8)はスライダーを示す。

この考案は以上の構造であつて、上下の各止部を構成する合成樹脂片に屈曲部を設けたもので、合成樹脂片の端部が丸みを帯びているため、肌や手指に触れても痛みもなく不快感を与えることが無く、しかも屈曲部がエレメント頭部の側面に溶着されていることから、エレメントとの固着状態が強固になり、スライダーの止作用を長期に亘つて支障なく持続するものである。

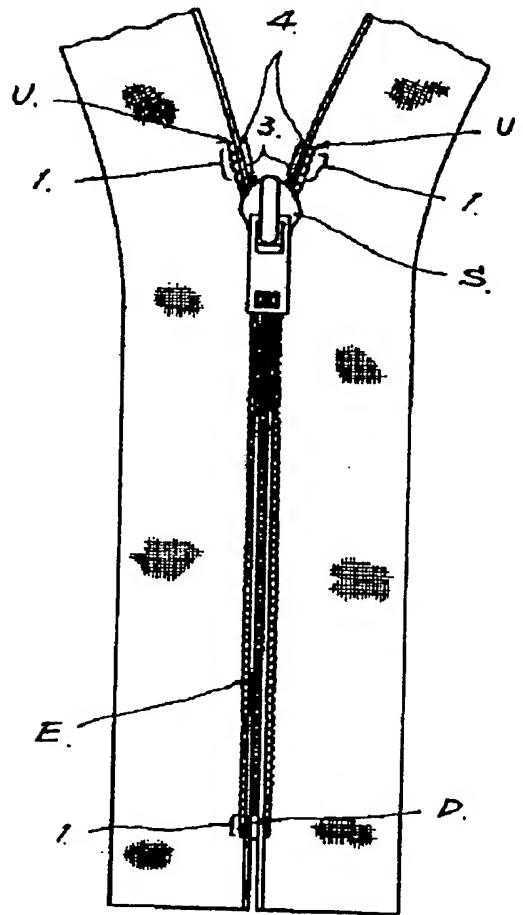
また、屈曲部をエレメント頭部の噛合面に喰い込んだ状態で溶着した場合には、第6図図示の如く、スライドファスナーの閉鎖時に矢印の方向に即ち開放する横引力が加えられても、屈曲部が末端のエレメントと一体に引き付けられるので、溶着部のみで支えられるものでなく、頭部の噛合面との係合關係で支えられ、更に強固に且つ安定した状態を保持するものである。

4 図面の簡単な説明

第1図はこの考案による止部を持つたスライ
ドファスナーの正面図、第2図は上止部を示す
拡大正面図、第3図は同じく側面図、第4図は
第2図の横断面図、第5図は上止部の類例を示
す正面図、第6図は上止部でスライダーの止作
用を示す断面図、第7図は下止部を示す拡大正
面図、第8図は第7図の縦断面図、第9図は第
7図の横断面図である。

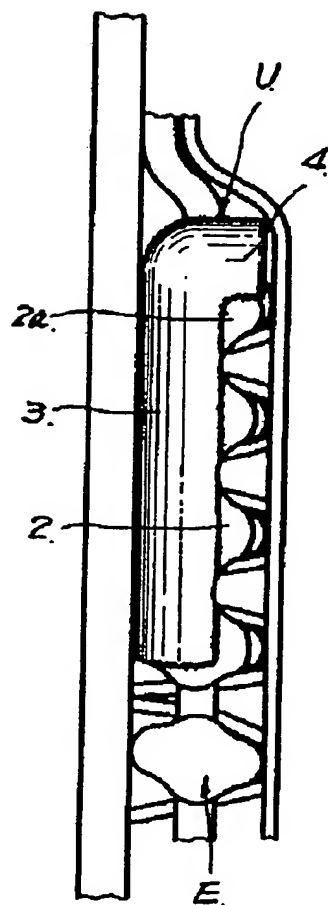
(E)・・エレメント列、(1)・・エレメント、(2)・・頭
部、(2a)・・末端のエレメント頭部、(3)・・合成樹脂
片、(4)・・屈曲部、(5)・・噛合面、(6)・・脚部、(S)・・
スライダー、(U)・・上止、(D)・・下止

第 1 圖

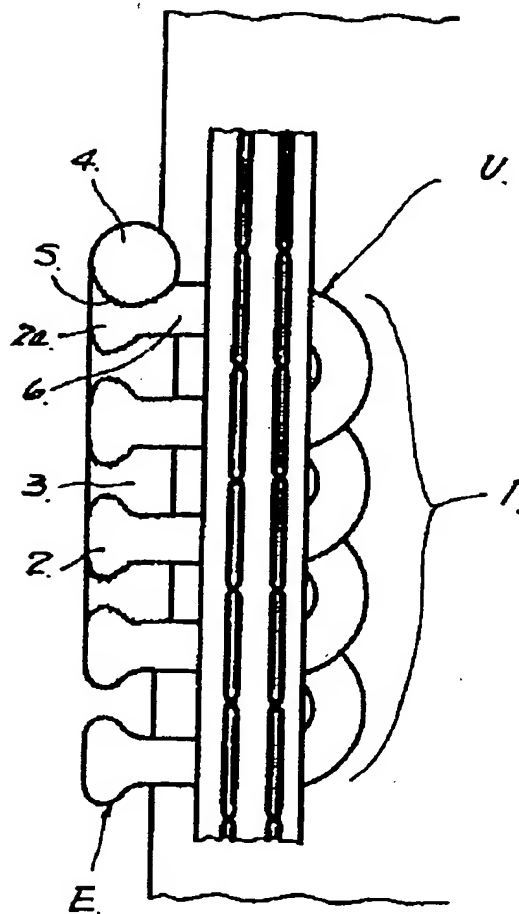


61702 $\frac{1}{4}$

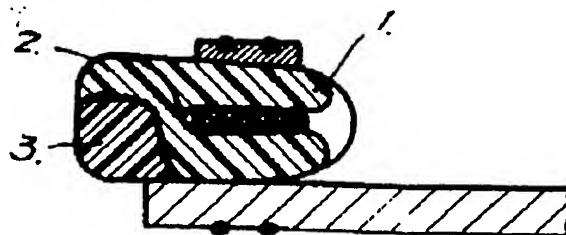
第 3 図



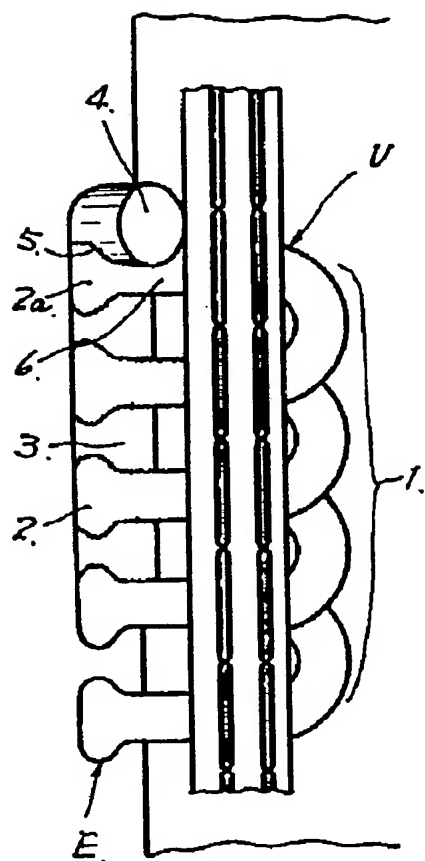
第 2 圖



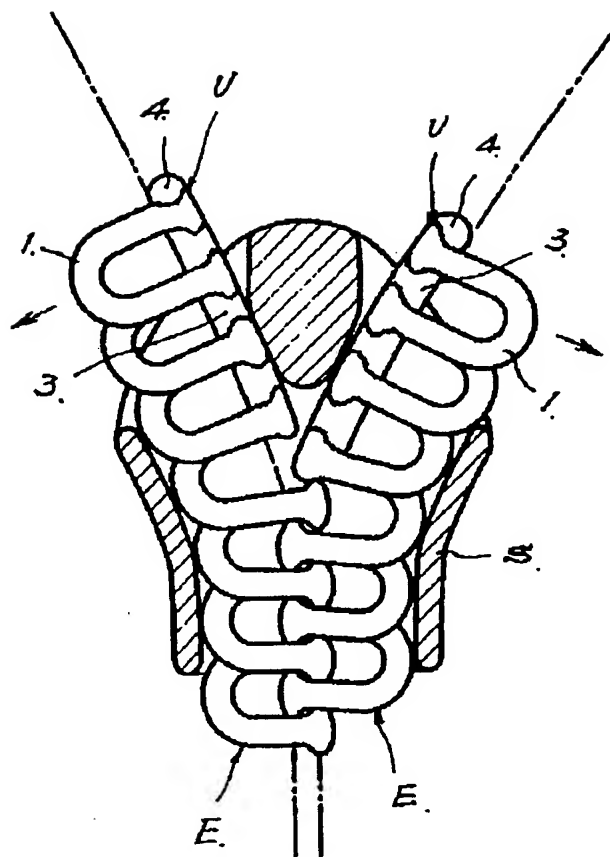
第 4 回



第 5 圖



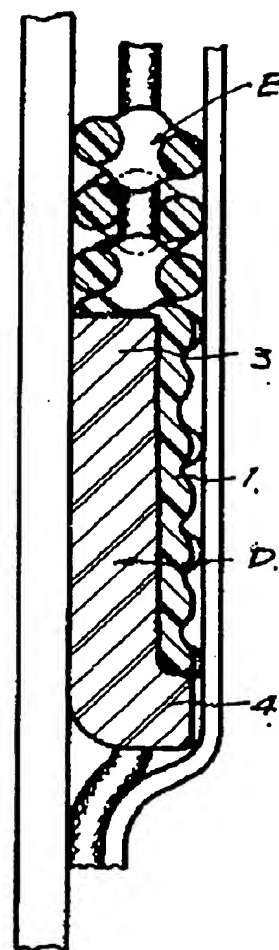
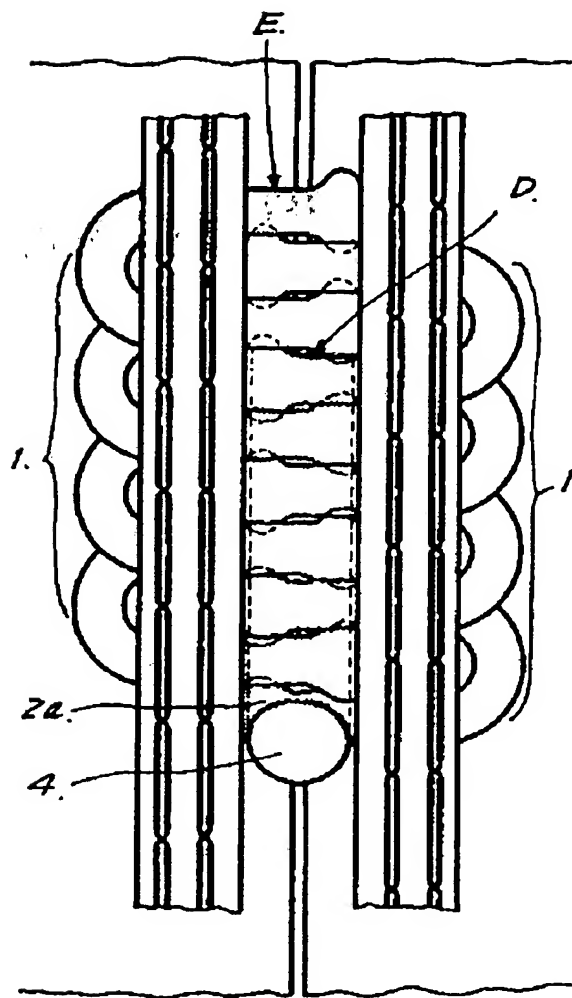
第 6 圖



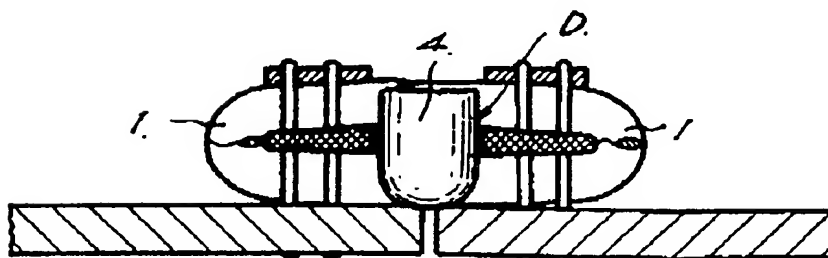
61702 $\frac{3}{4}$

第 7 図

第 8 図



第 9 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)